

# 麻郷小学校 特別支援教育だより



R5.9.15



よりよいサポートのために！

お子さんのことを理解し、将来的に困らないようにと注意をし続けてしまうことはよくあります。同じことを何度も言っても改善しない場合、一番困っているのは、子ども自身かもしれません。一部を許容しつつ、目標を絞ることで、取り組みやすくしましょう。



## ケース2 整理整頓が苦手

目についたもの、聞こえた音など周囲の情報に興味をもち、出したものを片付ける前に次の行動にうつってしまうタイプのお子さんは、いざ使うときに、「〇〇がない!」という状況が多く起こります。

① 大雑把な分類でしまうところを決める。

細かく分けすぎず、ラベルを貼った箱に入れるだけにすることで、長続きにつながります。

② 宿題や遊びのあと、出したものは片付けることを習慣化する。

ものがどこにあるのか分からなくなることを防ぎ、できたらほめる場面にもなります。

③ 片付け方が分からない時は、親子で整頓する。

一緒にすることで、片付け方のコツを覚えさせます。「色えんぴつを入れよう。本を戻そう。…」など一つずつ言ってあげるのもポイントです。

④ 整頓された状態を写真に撮って貼っておく。

見本があると、子どもだけでも片付けやすくなります。



⑤ 散らかり放題になる前に、定期的な整頓タイムを設ける。

一度に片付けられない場合は、本棚だけ、机の上だけなどと決めて、負担を減らしましょう。

⑥ きれいになったことをしっかりほめる。

居心地のよさを実感し、片付けは楽しいと感じられればベストですね。



\* 次回は、【ケース3 外出先で落ち着けない】について考えます。